



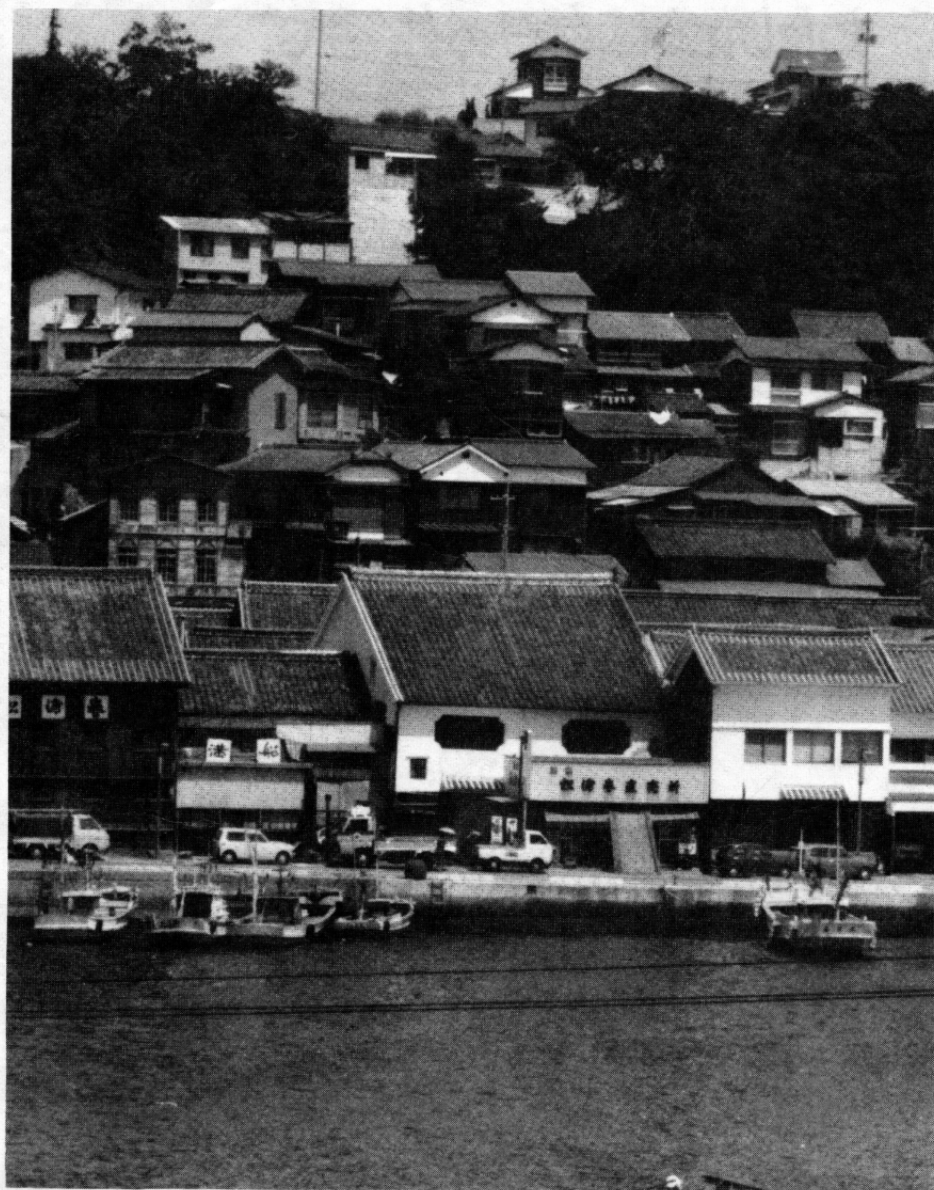
町
報



発行 呼子町・編集 企画課・印刷 唐津印刷有限会社

町 勢

昭和54年 5 月末現在
住民基本台帳による
人 口 男 3,697人
女 3,961人
計 7,658人
世帯数 2,047世帯
一戸平均 3.4人



松浦町風景

梅雨末期の
大雨に注意
7月の気象と災害

梅雨期の雨もシトシト降る分には、災害の面では心配ありませんが、1時間に30ミ（バケツの水をひっくり返したようなドシャブリの雨）も降ったり、1日の降雨量が百五十ミ―二百ミを超えるようなときは、呼子町でも47年7

月には、1時間に59ミの雨が降った記録があります（山崩れやガケ崩れが発生しやすくなりますので注意が必要です）。ちなみに降雨量の1ミというのは、畳二枚分の広さに1.8リットルビン2本弱（3.3リットル）の水を

まいたのと同じ状態です。1時間に30ミの降雨量とは、いかにすごいかがわかりただけでしよう。雨の降り方に注意するとともにテレビやラジオの「雨量情報」に耳を傾けるようにしましょう。

暮らしを支える 石油

石油、電気、ガス——これらのエネルギーなしには、わたしたちの暮らしは一日たりとも成り立たないといっているでしよう。

とくに、わが国の場合は、産業・輸送・民生すべてのエネルギー需給の約七割を石油でまかなっており、その石油の九九・

七％は海外から輸入しています。わたしたちの暮らしを支えるエネルギーは、そのほとんどを「輸入石油」に依存しているのです。

資源に乏しいわが国としては、文字通り、一滴たりとも石油をおろそかにできません。

わたしたちは毎日の生活で、 どのくらいのエネルギーを 使っているのでしょうか？ (石油換算)

親子4人の標準世帯 ●世帯主40歳、妻35歳、長男12歳、長女8歳
●木造1戸建住宅 3LDK(82.5㎡)に住む ●主な
耐久消費財/自動車1台、クーラー1台、年収400万円



〔参考〕政府は、IEA（国際エネルギー機関）加盟各国の合意に基づき、約五％の石油消費の節減対策を実施しています。



$$17 \times 4 = 68$$

人 本分



わたしたちは、日常の生活でいたい、どれくらいのエネルギーを使っているのでしょうか。

科学技術庁資源調査所がまとめた「ライフサイクル・エネルギーに関する調査研究」による試算では、家庭生活を営む上で、日本人一人一日当たり、牛乳びん約十七本分の石油を使っている勘定になります。

牛乳びん約十七本分の石油——これは電気やガスなど直接使うエネルギーだけでなく、住居や衣服、食料品など生活必需品を作るのに使われた間接エネルギーも含めて、石油に換算したもので、親子四人の標準世帯では牛乳びん約六十八本分に相当します。

これをもとに、全国民が一年間に使う家庭用エネルギーを計算しますと、石油換算で約一億五千万キロリットルになり、国全体の年間総エネルギー消費量の約四割に相当します。

税務大学の学生募集

国は、「社会保障」「教育」「公共事業」をはじめ、さまざまな仕事を行っています。その規模は、昭和五十四年度予算では三十八兆六千一億円というばう大な金額にのぼっていますが、その大部分が税金でまかなわれているのですから、税金に関する仕事は国にとってひじょうに重要なものです。

この重要な税務行政に関する仕事に携わっているのが税務職員です。

国家公務員採用初級試験(税務)に合格し、税務職員に採用された方は、実際の仕事に従事するに先立って、税務の専門教育を受けるために、採用と同時に税務大学校普通科(全国八か所)に入校します。そこで約一か年の研修を受けて、卒業すると直ちに大蔵事務官となつて、国税の仕事に従事することになります。

【試験要領】

▼受験資格

昭和三十四年四月二日(昭和三十七年四月一日生まれの男子

▼願書受付

昭和五十四年七月十一日(水) 七月二十日(金)

▼第一次試験

昭和五十四年九月三十日(日) 教養試験(高校卒業程度)、適性試験及び作文試験

▼第二次試験

昭和五十四年十一月中旬口述試験及び身体検査

▼最終合格発表

昭和五十四年十二月中

▼採用時期

昭和五十五年四月一日

▼採用予定人員

九州で約百九十名

▼入校研修所予定

税務大学校熊本研修所

東京研修所

大阪研修所

▼願書提出先

人事院九州事務局(福岡市博多区博多駅東二丁目十一一福岡合同庁舎)

▼問合せ先

人事院九州地方事務局(〇〇九二一四三一一七七三三) 福岡国税局(〇〇九二一四一一〇〇三一一)

税務署(〇二一三一一四一)

試験要領等くわしいことは、税務署へおたずねください。

警察官A(大学卒)採用試験

君の若さと情熱を……

佐賀県警察では、警視庁、千葉、神奈川、愛知、大阪及び兵庫の各都道府県と共同で、大学卒業者(卒業見込みの者を含む)を対象に

次のとおり警察官採用試験を行います。

▼受験資格 昭和27年4月2日から昭和33年4月1日までに生まれた男子で、大学を卒業した人または昭和55年3月までに卒業見込みの人。

▼受付期間 6月8日から7月7日まで、郵送による場合は、締切日の消印のあるもの。

▼第一次試験日 期日8月5日 場所 佐賀商業高等学校

第2次試験は9月中旬

▼採用予定人員

佐賀県 25名

その他の都府県 合計約15名

赤十字事業に参加しましょう

日本赤十字社はこととして百二年になり、国際赤十字の一員として、世界百二十五カ国の各国赤十字姉妹社とともに人道的任務達成のため、赤十字の諸活動を行なっています。外国に災害や紛争が起れば、ただちに救援金や物資をおくり、必要があれば医療班を派遣して救護活動を行なっています。

国内では人命をあずかる血液事業、地震など災害による被災者の救護活動、事故によるケガ人や病人に対する応急手当の仕方、水上安全や家庭看護の仕方などの講習、社会福祉や巡回診療などの仕事をしています。また、事業の実施がすぐできる

よう日頃から救援用の金品、資材等の備蓄、救護要員の確保、訓練を行なっています。

これらの事業に要する経費はすべて、みなさま方に日本赤十字社の社員に加入していただき、その社員の納める社費によってまかなわれております。

出費の多い時節柄ですが、この趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、すでに社員となつていただいている方は、社費を納めてくださるようお願いいたします。

ことしの重点事業

○災害救援活動の強化(資材の整備、物資の備蓄等)

○赤十字奉仕団活動の強化

○青少年赤十字メンバーの増強

○赤十字救急法、水上安全法、家庭看護法の普及、定着化

○特別社員(一時金一万元以上もしくは毎年一千元以上で一万元以上になる社員)の増員確保

町消防団

新入団者について(5月1日付)

次の方が新しく消防団へ入団されました。

橋本 一繁(第一分団第二部)
寺岡 保(第二分団第五部)
松尾 清重(第二分団第十一部)
福本 一雄(第三分団第六部)
中川 久敏()
藤田 清次()

深海 定信(第三分団第十部)
松尾 桶男(第四分団第七部)
平川 善成(第四分団第八部)
里口 良介()
金丸 重美()
松尾 昭久()

心配ごと相談所開設

急な動きで、激しく変る今日の社会経済の中で、私達の身辺を取りまく環境や、核家族化等にみられる家族関係の変化など、みづかな周辺で色々な出来事が問題となつていきます。

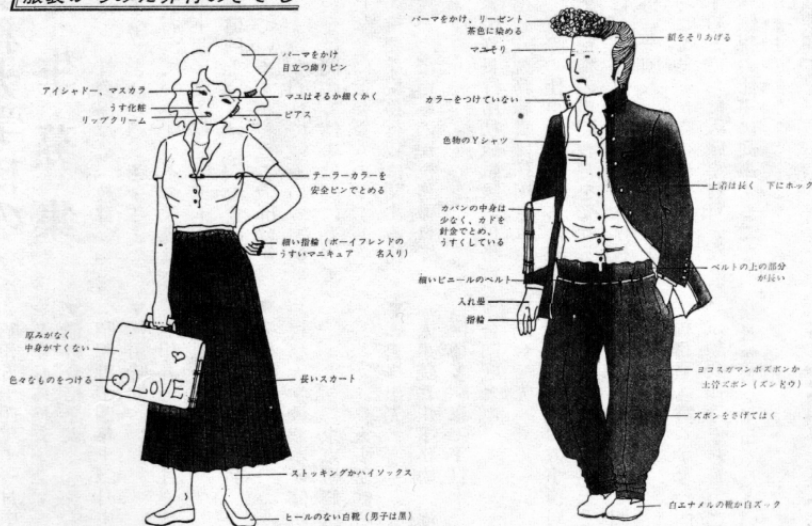
心配ごと相談員は、このような世代の中から生れてくる、色々な心配ごとなどについて、自分の立場になつて、相談を受け心配ごとについて考えてくれる人々です。

そこで新しく法人として発足を見ました、呼子町社会福祉協議会が主体となり、民生委員の方々が心配ごとの相談を受けられる、心配ごと相談所が開設されています。どなたでも、どんな心配ごとや悩みごとでも、気軽に相談に出かけて下さい。

心配ごと相談所は、毎月の第2日曜日と第4日曜日の、午前10時から午後3時まで、町社会体育館の1階心配ごと相談所で相談を受けています。
7月は7月8日と、7月22日が予定されています。

資料 4 (家庭向け)

服装からみた非行のきざし



佐賀県教育委員会

非行のきざしは服装から 校警補導連盟より協力依頼

県教育委員会では、このほど非行に走る少年、少女の特徴的なスタイルのポイントを図解した資料

を作成し、県内の小、中、高校に配布されました。「服装からみた非行のきざし」と見出しがつけら

れたこの資料では、最近、流行している非行少年、少女の服装などをイラスト入りで紹介して、地域や家族ぐるみで非行の早期発見に役立てて下さいというものです。

資料ではスタイルのポイントとして、男子の場合では、額をそりあげる。ズボンをさげてはく、靴は白のエナメルかズックなど。

女子はパーマをかけ、目立つ飾りピン、うすいマニキュア、長いスカートなどの特徴的なスタイルをあげて、「こんな服装変化のきざしがあったら注意してほしい」と呼びかけています。このほか、別の家庭向け資料として①こんなことはありませんか。②気をつけていますか。——と救いの手や、心のふれあいを大切にしましょうと訴えたパンフレットで非行防止に乗り出すと共に、協力をお願いしますとの事です。

社会を明るくする運動について

7月1日から1カ月間全国的に「社会を明るくする運動」が始まります。この運動は「非行や犯罪のない明るい社会の建設」を目的とするもので、今年で二十九回目を迎え、今年の重点目標として、「地域活動の推進による青少年の非行防止」をかけた、「防ごう非行あなたとわたしのつなぐ手」の標語で呼びかけています。当呼

子地区におきましても中央及び県の組織に従って地区実施委員会が結成され、当地区一円にわたってこの運動をすすめることになりましたので町の皆様のご参加ご協力をお願いいたします。

呼子地区実施委員会

委員長 落合勝郎

自然とのふれあいのない子ども

「パパ、この虫動かなくなったよ、電池とりかえてね・・・」と死んだカブト虫を差し出した子どもに、両親は啞然となり、そして悲しくもなってきたと話しをしてくれた人があります。「この子には、生命の神秘さがわかるのだろうか。」「自然の威力に対する感動など、とてもからだで感知することは無理だ」とあせりの気持が強く、なつたとも告白してくれました。

まさに大自然の摂理で受け止めるような機会のない、子どもにほかならないとはいえないでしょう。か。

「自然に帰れ」という言葉の実践活動が、今こそ現代つ子に必要だと思いませんか。緑の草原にのびのびとねそべって、太陽の応援を受けながら腕ずもうに汗を流す子どもや、雨の中でキャンプ活動に協力の偉大さをはだて学びとる子どもたちは、雄大な自然にふれ

昭和54年度

子どもクラブ

指導員決まる

部落名、クラブ名、指導員代表者氏名。(敬称略)

- 先方町(若草、石田のり子、若草、藤松桃江、海士町、若竹、川崎和子、釣町、太陽、北村政江)
- 小倉町、玄海、鶴勝子、中町、ベガサ、林ヒサト、宮の町、杉の子、大山エキ子、天満町、若梅、松田よしみ、松浦町、松の子、合田良子、川端町、麦笛、橋本里美
- 愛宕町、仲良し、神宮多津子、こまどり、平河玲子、こぼと、山下祝子、大青空、山下芳江、殿之浦岡、ひばり、小林光子、殿之浦浜、千鳥、柴田フサ子、殿之浦西、朝日、大宮三重子、小友、海の子、池田君子、加部島、岡部豊

以上

ながら、自己理解を深めるとともに、大きな理想、強い意志、たくましい勇気が身につくといえましょう。

町内にも、子どもクラブや、剣道少年団、野球少年団、海洋少年団等大人のひとたちの指導で、それぞれの目標、計画を組んで、すこやかな、気力のある少年を育てようとする組織がありますので、進んで参加するように、すすめていただきたいと思います。

あの人やあの子は……どこに

家出人を捜す相談所開設

ある日、突然姿を消してしまつたままの主人や妻、そして子供たちの行方を案じて警察に捜索願が出されている人は、昭和53年中県内で八四二人(男四一五人、女四二七人)となっています。

家出をした人のなかには、どこかで元気に暮らしている人もいる反面、不幸にも自殺や事故等により、すでに死亡されている人もあると思われまふ。

警察では、家出人等の行方を案じている方がたのご相談に応じ、併せて無縁仏の身元を一日も早く確認してその遺骨をご遺族にお引き渡したいとの願いをこめて、7月11日から

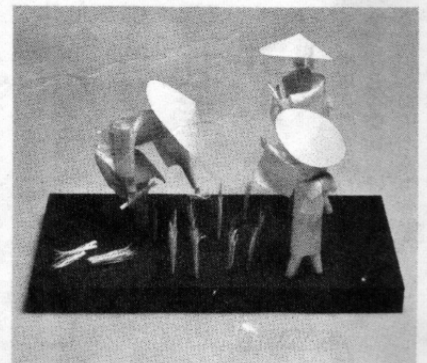
8月10日までの1か月間「行方のわからない人を捜す運動」と定めて期間中、各地で巡回相談

所を開くことにしています。

特に、

○家出当時ノイローゼ気味であったり、病気を苦にしていた人、その他自殺のおそれがある人
○音信がなく、全く行方のわからない人
などをお捜しの方は是非この機会

にご相談におでかけください。
巡回相談所の開設日程は次のとおりです。
7月20日(金) 多市役所内会議室
7月24日(火) 唐津市役所第2会議室
7月26日(木) 伊万里商工会議所
○午前9時～午後4時
なお、当日ご相談においての際は、捜している人の顔写真(なるべく新しいもの)や家出のとき着ておられた衣服のともぎれ等身許又は所在確認の手がかりになるものをご持参ください。



田植え

あなたには快適な音も

隣近所の人には「騒音」

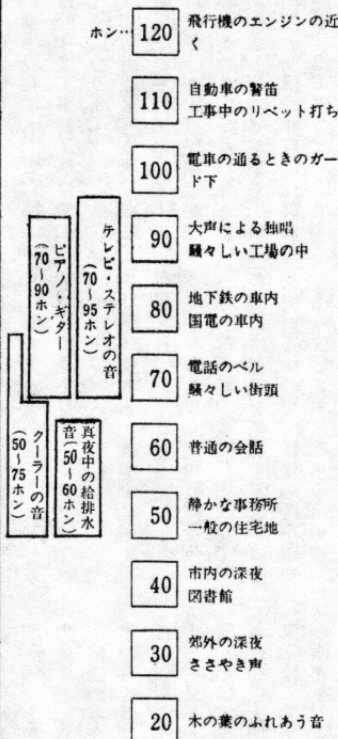
わたしたちは、さまざまな音の中で暮らしています。テレビ、クーラー、電話のベル、自動車、ピアノ……音の「発生源」は、数えあげればきりがありません。たとえば、身近なところではわたしたちの「声」がそうです。わたしたちは、声という「音」

によって人と話をし、お互いの意思を伝えあっています。声という「音」なしには、わたしたちの日常生活は考えられません。ところが、です。この人と人とのコミュニケーションに欠かせない声も、時と場所によっては、はた迷惑な「騒音」でしか

ない場合があるのは、ご存じの通りです。たとえば、図書館の中では、ひそひそ話でも読書している人にとっては騒音以外の何ものでもないでしょう。また、音楽好きな人にとって心地よいピアノの音色も、関心のない人や、勉強中や仕事の人にとっては迷惑な騒音にすぎないでしょう。

人話し声やピアノの音に限らず、テレビやラジオ・ステレオの音、クーラーの音、自動車の空吹かし音、ペットの鳴き声……など、あなたにとって大切で必要な「音」も、隣近所にしてみれば、ただの騒音にすぎないことがよくあるものです。それは時と場所にもよりますが、よくに夜間がそうです。お互いの騒音の「発生源」にならないように気をつけましょう。

みじかな「騒音」の大きさの例



〈注〉ホン=音の大小をはかる単位で、健康な人が聞こえる最小の音はゼロホン、耳に痛みを感じる音は130ホン。10ホン大きくなると、耳では音が倍になったと感じます。

音

「夜半の静けさ」は

三〇〜四〇ホン

わたしたちが普通に話す「会話」は、六〇ホン程度です。ちなみにクーラーの音は五〇〜七五ホン、テレビ・ステレオは七〇〜九五ホンぐらいです。

これらの音も、昼間なら、周りの音にかき消されたり弱められたりしますので、さほど気になりません。しかし、問題は夜間です。

物音一つしない静かな夜半のホンはといいますが、三〇から四〇くらいです。つまり、わたしたちは三〇〜四〇ホンの「音」の中で眠っているのです。ですから、これ以上のホンの音は、睡眠を妨げる耳ざわりな騒音と感じるのです。

町の防災工事進む

宮の町坊山など四ヶ所で

県の急傾斜崩壊危険区域に指定されている呼子町坊山(宮之町)など、一帯四カ所で行なわれている防災工事が急ピッチで進められています。私たちの町は港町で、海岸からせり上がったかけの下に民家が建っていますので、雨のひどいときには早々に避難をしなければならぬ状況でした。

県では、この様な状態を早急に解決しなければと、50年から防災工事が続けられています。

現況では、坊山地区(清水川から天満川まで)全体三百五十戸、うち53年度まで二百六十三戸(75%)完工、残延長87戸(54年度予定)▽高尾地区(天満川から呼子川まで)全体四百四十三戸、53年

度まで二百七戸(47%)完工、残延長二百三十六戸、▽殿之浦地区全体五百五戸、53年度まで四百三十八戸(87%)完工、残延長67戸(54年度予定)、▽3地区合計、一千二百九十八戸内防災工事実施済九百八戸(70%)

残部の役場以北地区、愛宕地区の工事は54年度工事終了後に着工されるようになります。

現在は、坊山地区三カ所、殿之浦一カ所(総延長約一km)で工事が進められています。民家とがけの間に高さが約3mから6mまでの、コンクリートの壁を築く工事です。この四カ所は今年度には終わる予定です。総工費は坊山地区だけで約一億五千万円です。

第30回郡民体育大会

厳木・相知・北波多三町村で実施

例年、町村まわりで実施されていましたが、本年度より、郡内を四ブロックに分けて実施されるように決定し、本年度は、厳木、相知、北波多の三町村で行われるようになりました。

日程、会場は次の通りです。
8月4日(土)

○開会式(相知中G) ○陸上(相知中G) ○庭球(相知町宮庭球場) ○ソフト男子(北波多村宮球場) ○銃剣道(厳木小体育館) ○相撲(浜玉町相撲場) ○弓道(厳木高弓道場) ○バレー男子(相知中体育館) ○バレー婦人(厳木コミニティ)

8月5日(日)

○野球(北波多村宮球場) ○ソフト女子(北波多中G) ○ソフト壮年(北波多中G) ○バレー女子(厳木小体育館) ○剣道(厳木町コミニティ) ○バドミントン(外町C・C) ○卓球(北波多小体育館) ○バスケット(相知中体育館) ○柔道(相知中柔道場) ○閉会式(相知中体育館)

7月22日(日) 予選

○野球(北波多村宮球場) ○ソフト女子(北波多中G) ○ソフト男子(北波多中G) ○ソフト壮年(北波多中G)

7月29日 ○水泳(厳木中プール) 7月26日

○ゲートボール(相知町賀寿苑) 町からも町の皆様を代表して、各種目選手を派遣することになっていきますので、皆様の御声援をお願い致します。

心電図作成



小学校新入児童の 心臓検診実施さる

今年の新入児童(百九人)から、心臓検診が実施されて、心電図(心臓の活動を電流や、電圧の変化の形でとらえ、記録するもの)を作成して、健康状態の把握に役立てようとするものです。

これは町教育委員会が、東松浦郡医師会と久留米大学医学部の協力によって行われたものです。

健康のみなもとである心臓の疾患の有無は、色々な面で児童の生活に影響をあたえるものでありますし、又その状況の実体を知って置く事は、学校教育の上でもかかせない大切なことです。そして又学校入学までに一度も心臓などの検査を、受けていない児童も多いこと、などもあって実施されたものです。

民生委員で 老人部会

手造雑布を

『延寿荘老人 ホームへ』

町民生委員会老人部会では、部会事業の一つにと各委員の皆さんと計り、老人ホーム用の雑布を手

造りで作っておりましたが、その数も百二十枚になりましたので、老人部会の松永、松尾、内田、福浦の各委員さんが代表で、5月31日養護老人ホーム『延寿荘』を訪問して、手造りの雑布百二十枚を老人代表の方に贈られました。

どうぞつかって下さい



町の伝統行事

『呼子の大綱引』にぎわう

約三百年の伝統を持つ『呼子の大綱引』が、6月2日、3日の両日色鮮やかな鯉のぼりが、勇ましく泳ぐ青色の下で行われました。

昨年が水不足のため取止めとなつたこともあってか、観光客も近年になく多くて約七千人の人数があり、各テレビ局、新聞カメラマ



それ引けやれ引け

ン、一般カメラ愛好者、町一杯のお客様を迎えて町は綱引ムード一色でした。

4日の小人綱は町役場前を中心に長さ二百、直径十五のロープが路上に置かれて、これを浜組と岡組に分かれて引き合われます。合図の打上火花が上がってからは、昨年中止になった事もあってか、ことしは一段と力のこもった綱引きとなつて、子供に加わつてお母さんたちも『ヨイサ、ヨイサ』。勇壮なドラの音に励まされ、総勢約千六百人が一時間にわたつて三回勝負。熱戦のすえに、浜組が勝ちました。

三日の大人綱引きは、午前十一時頃から若衆達による町廻りが始まり、景気づけのドラを鳴らし各町内をふれ回ります。町内の若衆や町の人々が勢揃いして、呼子署前のミト(中央部綱のつなぎ目)



ボクらも元気で

を中心にした長さ四百米、直径十五の大綱に岡と、浜組に分かれて位置につきます。午後一時三十分、試合開始の打ち上げ火花を合図に『ヨイショ、ヨイショ』のかけ声で引き合いました。ミトの上の若衆が懸命に采配(さいはい)を振り、応援のドラが勇ましく鳴り合い、力水が飛びます。一回戦は両者一進一退で四十分間にわたる熱戦の末引き分け、二回目は浜組の勝ち、三回目は再び引き分けの大熱戦となりました。最終決定は浜組の勝ちと決まりました。

町内では、4才までの幼児について、生ワク投薬を行っています。これは、毎年5月と11月に日時、場所等該当の皆さんに通知の上、投薬が行われているものです。今年も5月29日に町社会体育館で、53・2・1から54・1・31まで生れの90名(全町)の幼児に、生ワク投薬が行われました。もしこのとき、身体の状態で投薬されなかった幼児の方は、11月の投薬日にお出かけ下さい。尚7月には、3才児検診が予定されています。

生ワク投薬は5月と11月に



ビックリしたのかな?



旅行や出張の際、その土地の「味」を、お土産品に買い求めるのは楽しいものです。

ところで、旅から戻って、いざ包装を解いてみると、外見からはわからないように容

ナイター利用に ポリ袋を

初夏のさわやかな風が流れる中で、力一杯活動出来るナイターの、だいご味は、本当に申し分のない心地よさでございませう。

そこで、暑い日のどを、ヤクルトかジュースで潤して、又一戦となるのはよいのですが、その後の空缶、や空がらが草むらの中や、道路わきに転がされたまま放りっぱなしになっています。

ナイターでグラウンド使用の人々だけではないのですが、学校



K・Y生

は子ども達の学ぶところ、しつけの上でも大人の人達は、など子ども達の非難を受けぬうちに、空缶などの持ち帰りのための容器として、ポリ袋の持参をお願いしますと、学校の方からも協力依頼があらまりました。

スポーツマンマナーにかけて、グラウンド使用の際の、味覚賞味の空容器の処理の方も考えて下さい。

アゲゾコなどを禁止

器の底を必要以上に上げたもの(アゲゾコ)や、タマネギでもあるまいに幾重にも内装してあったり(十二単)じゅうにひとえ)……などというご経験はありませんか。

アゲゾコや十二単のほか、次のような過大包装を禁止しています。

き、公正取引委員会の認定を受けて、「観光土産品の表示に関する公正競争規約」をつくり、次のような規制をしています。

【対象】
食品類の観光土産品
【過大包装の禁止】

全体に入っているかのように見かけるもの。

アンコ内容物の保護の限度を越えてセロファンなどを容器につめこみ、食品がたっさん入っているように見せかけたもの。

【虚偽や誇大な表示の禁止】
例えば、賞でもないのに賞であるかのような表示をしたり、官公庁、神社、仏閣などが推奨しているかのように思わせる表示をすることを禁止しています。

(必ず表示するもの)

①商品名②製造業者名または販売業者名および住所③重量または個数④製造年月日または保存期間⑤原材料

こうした規約に基づいて、業界の実施機関である観光土産品公正取引協議会が審査をし、合格したものには「認定証」が表示されています。

観光土産品(食品)を買うときは、「認定証」のマークをいまい一度確かめましょう。

用 踏 五月末日 現在

お誕生

前川 元美(義男 長女)海士町
岩崎 加南(光一 長女)松浦町
堤 諭嗣(由紀夫長男) "
多田貴美子(豊作 2女)川端町
原 智久(次男 2男) "
小宮 与治(久雄 長男) "
吉岡 真理(晃一郎長女) "
本城 圭介(英俊 長男) "



高砂や

中山 寿子(充 長女)愛宕町
牧山 園美(常雄 7女)殿之浦浜
小宮 克久(元一 長男) "
松本 高明(繁昭 長男)小友
川添 裕司(茂廣 2男)小川島

柴藤 哲明 殿之浦浜
伊藤喜久子 愛宕町
松尾 博 海士町
伊藤 愛子 鎮西町



おくやみ

伊藤 廣 71歳 愛宕町
金丸 善吉 68歳 "
林 ヒサ 70歳 小友

香典返しお礼

伊藤富彌殿(愛宕町)故父 廣様
林 鶴吉殿(小友)故妻ヒサ様

呼子町社会福祉協議会

太田 芳則 先方町
山口 春美 肥前町
矢野 泰章 小川島
鳴海 初音 唐津市
松口 敏憲 加部島
加茂 美鈴 先方町
古田 富裕 宮ノ町
藤原恵美子 唐津市
川添 光尚 小川島
川添保津美 大阪府
牧山弥寿郎 殿之浦西
馬場崎妙子 唐津市
釣川 英明 殿之浦浜
斉藤 文枝 松浦町